



日本共産党

北区議会議員

No.338 2015.2.4

のの山けん 区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp



小池晃参院議員 安倍首相に迫る 削減は撤回を



介護報酬削減問題で安倍首相を追及する小池晃参院議員 =3日、参院予算委

日本共産党の小池晃参院議員は3日の予算委員会で介護報酬の削減問題を取り上げ、安倍首相にその撤回を迫るとともに、社会保障の自然増削減路線の転換を強く求めました。政府がしめした新年度予算案では、介護報酬を2・27%も引き下げるとしています。安倍首相は、介護報酬を下げても処遇改善加算(月1万2000円)を充実するから介護職員の賃上げができるなどのべましたが、小

池氏は「賃上げしろといつても、手足を縛って泳げというようなもの。報酬削減は処遇改善に逆行する」と厳しく批判しました。
東京・北区
報酬削減で特養が撤退
さらに小池氏は、昨年10月、北区で建設が予定されていた介護施設が突然中止となり、その理由の第1に「介護報酬の引き下げ」があげられていることを

紹介しました。これは、豊島6丁目計画されていた特別養護老人ホーム「(仮称)しょうじゅ豊島」(定員221名)で、実現していれば、区内で最大の施設となる予定でした。3日朝に放映されたNHK「おはよう日本」では、この施設撤退問題が取り上げられ、認知症の母親を介護する女性の「早く入れるようになりたい、それしか思いつかない」という言葉が痛々しく紹介されていました。施設の建設が中止されたケースは全国に広がり、NHKの調査では、この3年間に建設ができなかった施設があると答えた自治体が半数以上に。その理由は、「応募する事業者



特養ホームの計画が中止になった「(仮称)しょうじゅ豊島」建設予定地 =豊島6丁目

がない」が最も多く、背景には深刻な人手不足があるとみられます。日本共産党北区議員団は、撤退した施設の予定地での、新たな特養ホームの建設に全力をあげるよう区長に申し入れています。

特定整備路線・補助86号線(赤羽西)計画は中止・撤回を

くらし・環境・文化遺産をまもる 住民の会発足



住民の会発足総会であいさつする、そね都議 =1日、西が丘ふれあい館

1日、西が丘ふれあい館で、住民不在の道路計画中止を求める「86号線計画からくらし・環境・文化遺産をまもる住民の会」の発足総会が開かれました。

東京都は2020年までに、北区内3路線4カ所で幅員20mの特定整備路線を整備するとしています。しかし、数多くの住民を立ち退かせ、住環境、自然環境の破壊につながる計画に、地元住民からは強い反対の声があがっています。

総会は、赤羽西地域の補助86号線沿線の住民らが中

心になって準備を進めてきました。

冒頭、そねはじめ都議が道路計画をめぐる情勢について報告し、事業の中止を求める運動への連帯を表明。続いて会結成までの経過が報告され、運動方針、会の目的規約、役員体制の提案が、活発な討議をへて了承されました。

十条の73号線、西ヶ原の81号線、品川の29号線に反対する住民からもメールが送られ、明るい雰囲気の中で総会が終了しました。

(のの山けん)



代表幹事に選出された静勝寺の高崎住職

民団北支部が新年会 戦後70年目の年、日韓関係の改善を

1月31日、今年も銀座アスターで在日大韓国民団東京北支部の新年会が開かれ、そねはじめ都議、ながいとも区議とともに参加しました。

私はあいさつの中で「戦後70年目の年を迎え、今年こそ日本と韓国との関係がよくなることを願ってやみません。そのためにも、日本は過去の侵略戦争と植民地支配を反省し、憲法9条をかかげて二度と戦争しないことを世界とアジアに発信すべきです」と訴えさせていただきました。(のの山けん)

